

事業の概況

■緩やかな景気拡大が続く

当連結会計年度(2006年1月1日~2006年12月31日)におけるわが国経済は、企業収益改善や需要増加による設備投資に支えられ、長期にわたる緩やかな景気拡大が続いております。

当社グループの属するIT関連業界は、景況感の回復や資金調達環境の改善を背景に、法令や公的手続電子化等への対応、事業拡大のための基盤整備、業務の効率化やコスト削減、人材・人手不足対策等、経営強化や生き残りをかけた企業の高いIT投資意欲により、まだら模様ながらも全体としては堅調に推移しております。

具体的には、情報セキュリティ対策の強化、情報システムインフラの見直し、統合型業務パッケージソフトの導入等が高い伸びを示しており、システム運用管理等のアウトソーシングも増加傾向にあります。

但し、お客様のトータルコスト削減や投資対効果明確化の要求は強く、コスト面に配慮しながらお客様に最適な付加価値の高い提案を行うことが業界全体の課題となっております。

また、中小企業においてはIT活用の余地が依然として大きく、IT投資意欲も高まりを見せているものの、ITに詳しい人材や要員が不足気味であるため、製品情報や導入事例のタイムリーな提供、経営課題解決のための適切なシステム提案、システム導入後の親身なサポートと迅速な対応等がより一層求められています。

■お客様のニーズに合ったシステム提案

このような中で当社グループは、2006年度のスローガンを「お客様の目線で、信頼に応える」とし、独自開発の顧客管理および営業支援システム「SPR」の機能強化と活用促進をより一層図りながら、お客様のニーズに合ったシステム提案を積極的かつ効率的に行いました。

また、当社の強みである複写機、コンピュータ、

FAX、電話機、回線などを組み合わせた複合システム提案を積極的に行い、情報セキュリティ関連ビジネス、統合型基幹業務システム「SMILEシリーズ」、オフィスサプライ通信販売事業「たのめーる」、オリジナルのナレッジマネジメントシステム「ODS21」等の重点戦略事業に引き続き注力し、既存のお客様との取引拡大と新規顧客の開拓に努めました。

さらに、営業支援センターの業務拡大による営業効率向上とシステム開発案件のプロジェクト管理強化による生産性向上に努めました。

この他、サービス&サポート事業を「たのめーる」と「たよれーる*」の2大ブランドに集約し、サービス&サポートメニューの充実とわかりやすさの向上に努めました。

*たよれーる=お客様の情報システムや企業活動全般をサポートする事業ブランド。

■売上高5.9%増収

営業利益19.4%、経常利益19.3%増益

以上の結果、当連結会計年度の業績は、売上高4,336億17百万円(前年同期比5.9%増)、営業利益261億58百万円(前年同期比19.4%増)、経常利益264億94百万円(前年同期比19.3%増)、当期純利益156億21百万円(前年同期比33.0%増)と4期連続で増収増益となりました。

(単位:百万円)

	2005年12月期	2006年12月期	
	金額	金額	増減率
売上高	409,413	433,617	+5.9%
営業利益	21,911	26,158	+19.4%
経常利益	22,210	26,494	+19.3%
当期純利益	11,747	15,621	+33.0%

「SPR」とは

「SPR」は当社が独自に開発した顧客管理&営業支援システムです。

このシステムには、お客様のプロフィールや取引履歴(過去)はもとより、日々2万社に及ぶお客様との面談、コンタクト情報等が蓄積されています。

このシステムを活用し、お客様への提案状況(現在)や、お客様の要望・ニーズ(未来)を把握し、情報を多面的に分析し活用することで、個々のお客様に最適な提案を効率よく行うことが可能となっています。

SPR : Sales Process Re-engineering の略称

当社独自開発の CRM + SFA システム
(顧客管理) (営業支援)

お客様のプロフィールを正確に知る

お客様との取引履歴(過去)を知る

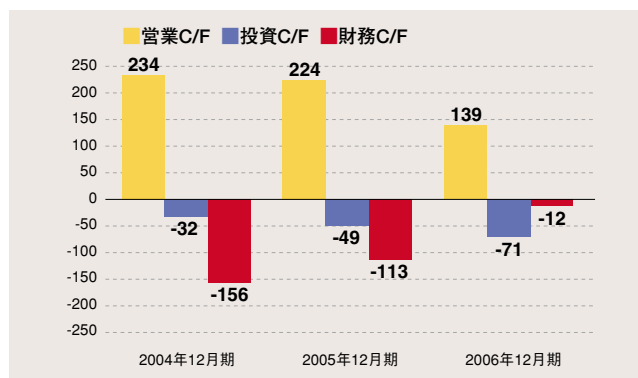
お客様への提案状況(現在)を知る

お客様の要望・ニーズ(未来)を知る

科学的営業でCS向上と効率アップを同時に実現

キャッシュ・フローの推移

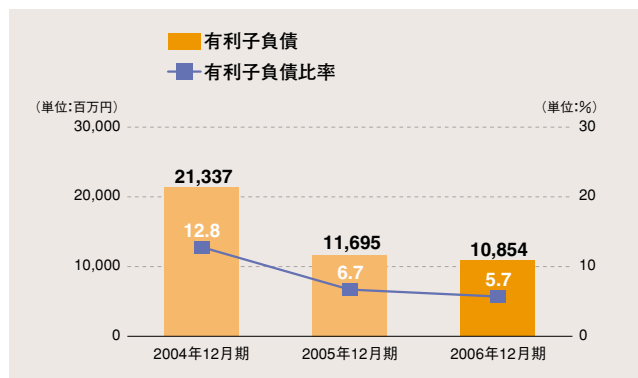
(単位: 億円)



営業活動によるキャッシュ・フローは、法人税等の支払額が増加したことなどにより、139億9百万円(前年同期は224億68百万円)となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、投資有価証券の取得による支出が増加したことなどにより71億61百万円(前年同期は49億86百万円)となり、財務活動によるキャッシュ・フローは、12億50百万円(前年同期は、借入金の返済による支出があったことなどにより113億38百万円)となりました。

有利子負債の推移



当連結会計年度末における、有利子負債(短期借入金および長期借入金)は約8億円減少し、108億54百万円となりました。当連結会計年度末においても、有利子負債残高は、現預金残高184億21百万円を下回りました。

有利子負債比率は5.7%となり、前年同期末に比べ1.0ポイント改善しました。

事業セグメント別の概況

■ システムインテグレーション事業

コンサルティングからシステム設計・開発、搬入設置工事、ネットワーク構築まで最適なシステムを提供するシステムインテグレーション事業では、情報セキュリティ関連商品、サーバ、カラー複写機、統合型基幹業務システム「SMILEシリーズ」、オリジナルのナレッジマネジメントシステム「ODS21」、CADシステム等に注力した結果、売上高は2,634億25百万円（前年同期比2.0%増）となりました。

■ サービス&サポート事業

サプライ供給、ハード&ソフト保守、テレフォンサポート、教育、アウトソーシングサービス等により導入システムや企業活動をトータルにサポートするサービス&サポート事業では、Webサイトおよびカタログによるオフィスサプライ通信販売事業「たのめーる」が引き続き好調に推移し、保守等が堅調であったことから、売上高は1,687億1百万円（前年同期比13.1%増）となりました。

■ その他の事業

その他の事業では、売上高は14億90百万円（前年同期比26.8%減）となりました。

事業セグメント別の売上高推移

(単位:百万円)

